

高学年分科会提案

目指す児童像

運動の楽しさや喜びを味わい、基本的な技を身に付けられる児童

仮説

予備運動を行い、ICT 機器を活用したり、友達との関わり合いを通したりすることで、目指す児童像に迫ることが出来るだろう。

2 授業学年 5 学年

3 単元の目標

『知識及び技能』

- ・運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技を身につける。

『思考力、判断力、表現力』

- ・自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

『主体的に学習に取り組む態度』

- ・運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすること。

4 運動の特性

○一般的特性

- ・跳び箱運動では、その行い方を理解するとともに、自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる運動。(新学習指導要領)

○児童から見た特性

- ・跳び箱運動は、自分の能力に応じて切り返し系、回転系の技に組み込み、今できる技をより上手にできるようにしたり、できそうな技に挑戦したりしてできるようにすることが楽しい運動である。
- ・ICT 機器を活用して、自己や仲間の動きを照らし合わせて、技の出来ばえや次の課題を確認するなど、自己の課題を見つけることができる運動。

5 児童の実態

第5学年・第6学年共に、低学年や中学年からの学習の積み重ねによって基本的な腕支持感覚や顎だし感覚、技が身に付いており、体育の学習に意欲的に取り組んでいる。一方で、転入児童は跳び箱運動の学習経験が少なく、学級内で差が大きいとも言える。

グループ活動については、他教科でも取り入れており、リーダーを中心として、円滑に学習を進めることができる。

○本単元にかかわる児童の実態(令和2年11月11日実施 実施人数5年 75名 6年 66名)

5年

	A	B	C
開脚跳び	55	12	8

台上前転	55	11	9
首はね跳び	13	14	48
頭はね跳び	8	7	60

6年

	A	B	C
開脚跳び	35	23	8
台上前転	22	23	21
首はね跳び	8	19	39
頭はね跳び	10	21	35

「A：基準の動きをスムーズにできる」「B:基準の動きの通りにできる」「C:できない」

6 研究主題に迫るための手立てと工夫

(1) 運動技能のポイントをつかませる工夫

児童が主体的に運動技能のポイントをつかむことができるように、模範となる演技の動画を見せ、そこからポイントを児童に考えさせる。また、動きを見るとき視点の視点を明確にした発問をし、ポイントを発見しやすいようにする。児童が自らポイントをつかむことによって、場の工夫や友達の技を見るとき視点が自然と身に付くことが期待できると考えた。

(2) 豊かにかかわらせるための指導の工夫

本単元では、能力の異なる異質のグループを編成し、グループ内で教え合ったり、励まし合ったりするかかわり合い活動を活発にすることで、技能の獲得だけではなく、グループ内での人間関係を豊かにすることをねらいとする。

友達の演技を見ながら練習することで、励まし合ったり、刺激し合ったりすることで互いに上手な動きをめざして技能を身につけていくことができる。また、一人ひとりの技をタブレットで撮影し、それをグループ全員で見て友達の技について話し合うことで、活発に意見交流ができるようにする。豊かにかかわり合いながら、生き生きと運動に取り組むことができると期待される。

(3) 跳び箱運動を楽しませる工夫

横飛び越して、おしりを上げる感覚、肩に体重を乗せる感覚を身に付けさせる。さらに、視線を移動させて体をコントロールすることで、跳び箱運動の新たな楽しさを感じられるようになると思った。毎時間の感覚づくりタイムに取り入れることにした。

(4) 場の設定の工夫

各自のめあてを達成させるのに適した場を設定する。「台上前転」「首はね跳び」「頭はね跳び」の習熟過程を考慮し段階的に取り組むことのできるように工夫する。教師側でいくつかの場を用意しておき、その中から児童に場を選択させる。

子どもたちが把握している自分の課題や次時のめあてについて、ワークシートの振り返りを基に実態把握することで、子ども一人一人の願いや課題、動きの高まりを把握し、授業の中で個に応じた指導や場づくりに生かすことができるようにする。

7 学習過程(全6時間)

指導のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 場の準備や片付けの仕方、学習の仕方について知る。 自己の今もっている力で運動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し系の技のポイントを知り、運動に取り組み、自己の課題を見付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し系の技のポイントを知り、運動に取り組み、自己の課題を見付けることができる。
	1	2	3
	オリエンテーション	繰り返し系の技	繰り返し系の技
学習活動	<p>1 学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 跳び箱の練習の仕方を知ろう。 </div> <p>2 跳び箱の準備の仕方、感覚づくりタイムの仕方、グループでの見合いの仕方を知る。(ICT)</p> <p>3 準備運動</p> <p>4 場の準備</p> <p>5 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操 カエルの足うち アンテナからのブリッジ 壁の跳ね返し 跳び箱の上からジャンプ うさぎ跳び <p>5 自分の力を確かめる。</p> <p>6 整理運動</p> <p>7 跳び箱の片づけをする。</p>	<p>1 学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 繰り返し系の技のポイントを知り、自分の課題を見つけよう。 </div> <p>2 準備運動</p> <p>3 場の準備</p> <p>4 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操 カエルの足うち アンテナからのブリッジ 壁の跳ね返し 跳び箱の上からジャンプ うさぎ跳び <p>5 ポイントタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し系の技のポイントを確認する。 <p>6 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) <p>7 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>8 クーリングダウンをする。</p> <p>9 跳び箱の片づけをする。</p>	<p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 繰り返し系の技のポイントを知り、自分の課題を見つけよう。 </div> <p>2 準備運動</p> <p>3 場の準備</p> <p>4 感覚づくりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ねこちゃん体操、アンテナからのブリッジ <p>5 ポイントタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し系の技のポイントを確認する。 <p>6 チャレンジタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) <p>7 感想を出し合い、学習のまとめをする。</p> <p>8 クーリングダウンをする。</p> <p>9 跳び箱の片づけをする。</p>
	つまずきの例	(開脚飛び) <ul style="list-style-type: none"> 腰が高く上がらない。 跳び箱の上に座ってしまう。 	(大きな開脚飛び) <ul style="list-style-type: none"> 腰が高く上がらない。 着地が安定しない。
児童への支援 努力を要する	<ul style="list-style-type: none"> ロイター版の上で腰を上げる練習をする。 手で押すことを意識させる、手で押す練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ロイター版の上で腰を上げる練習をする。 手で押すことを意識させる、手で押す練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 重ねたマットの上に前転をし、飛び上がる感覚を身に付ける。 マットを敷いて安心して挑戦できるようにする。
児童への支援 おおむね満足できる状況にある	<ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで動いている児童を取り上げ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。

指導のね	<ul style="list-style-type: none"> • 回転系の技のポイントを知り、運動に取り組み、自己の課題を見付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 回転系の技のポイントを知り、運動に取り組み、自己の課題を見付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 回転系の技のポイントを知り、運動に取り組み、自己の課題を見付けることができる。
時	4	5	6
	回転系の技	回転系の技	回転系の技
学習活動	<p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 切り返し系の技のポイントを知り、自分の課題を見つけよう。 </div> <p>2 準備運動 3 場の準備 4 感覚づくりタイム ・ねこちゃん体操、アンテナからのブリッジ 5 ポイントタイム 6 チャレンジタイム ・友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) 7 感想を出し合い、学習のまとめをする。 8 クーリングダウンをする。 9 跳び箱の片づけをする。</p>	<p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 切り返し系の技のポイントを知り、自分の課題を見つけよう。 </div> <p>2 準備運動 3 場の準備 4 感覚づくりタイム ・ねこちゃん体操、アンテナからのブリッジ 5 ポイントタイム 6 チャレンジタイム ・友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) 7 感想を出し合い、学習のまとめをする。 8 クーリングダウンをする。 9 跳び箱の片づけをする。</p>	<p>1 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 切り返し系の技のポイントを知り、自分の課題を見つけよう。 </div> <p>2 準備運動 3 場の準備 4 感覚づくりタイム ・ねこちゃん体操、アンテナからのブリッジ 5 ポイントタイム チャレンジタイム ・友達と見合いながら、運動に取り組む。(ICT) 6 感想を出し合い、学習のまとめをする。 7 クーリングダウンをする。 8 跳び箱の片づけをする。</p>
しませきの例	(伸膝台上前転) <ul style="list-style-type: none"> • 膝を伸ばして回ることができない。 	(首はね跳び) <ul style="list-style-type: none"> • 跳ねることができない。 • 跳ねるタイミングが分からない。 • 膝が曲がってしまう。 	(頭はね跳び) <ul style="list-style-type: none"> • 跳ねることができない。 • 跳ねるタイミングが分からない。 • 膝が曲がってしまう。
児童への支援	<ul style="list-style-type: none"> • マットの上で、ゆっくりと前転→V字を練習し、膝を伸ばす感覚を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナ→ブリッジを練習し、跳ねる感覚を身に付ける。 • 舞台の上から首はね下りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナ→ブリッジを練習し、跳ねる感覚を身に付ける。 • 舞台の上から頭はね下りをする。
ある児童への支援	<ul style="list-style-type: none"> • 進んで動いている児童をとりあげ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 進んで動いている児童をとりあげ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 進んで動いている児童をとりあげ称賛し、その児童の真似をするよう全体に声掛けをする。